

令和2年8月6日

帝京科学大学学生・保護者の皆様

令和2年度後期の授業方針について

帝京科学大学

先般、学修状況に関する緊急アンケートを実施しました。多くの方にご回答いただきありがとうございました。「後期の対面授業の開講について」のアンケートでは、対面授業を希望する意見、十分な感染対策を行って対面授業を開講してほしいという意見、今年度の対面授業はできるだけ開講してほしいという意見などが多く寄せられ、対面授業開講に前向きな意見はあるものの、一方では感染への危機感を持っている意見もあります。

今回の調査結果、感染状況等の社会情勢を踏まえ、9月19日(土)からの後期の授業については、感染防止と学修機会の確保の両立を図るため、原則として、講義系の授業科目はオンライン授業、実験・実習・実技・演習系の授業科目の一部については対面授業で実施することとします。なお、対面授業や通学への強い不安があり、どうしても出席できないという場合には、別途代替措置など配慮する予定です。

現在、学内の三密状態を回避するため、大学に登校できる学生数を在籍者数の概ね25%以下に制限したうえで、各学科の対面授業優先開講科目を踏まえ授業時間割等を調整しているところです。後期の履修希望科目がオンライン授業なのか対面授業なのかを把握して履修登録できるよう、授業時間割、対面授業科目等の詳細については、遅くとも後期授業開始日の3週間前までにお知らせします。

対面授業を実施するにあたっては、新型コロナウイルスへの感染リスクに配慮し、十分な感染防止対策を講じることとしています。なお、学期の途中であっても新型コロナウイルスの感染状況に応じて、授業の実施方法(オンライン授業・対面授業)等が急遽変更になる可能性があります。あらかじめご承知おきください。

先般のアンケート調査結果の要旨については後日お知らせしますが、授業方法等に関しては、授業の進め方・内容、課題量、学生への連絡・質問への対応などについて様々なご意見がありました。現在、どのような改善策が可能か検討中であり、後期においては少しでも改善できるよう努めます。

感染は若者世代を中心に拡大しています。三密の状況を避けるなど、学生の皆様は、一人一人が自分の身を守るため、人に感染させないため、「新たな日常」に対応した行動に徹するようお願いいたします。

感染拡大の防止と学修機会の確保の両立を図るため、後期は上記の方針で対応することとします。何卒ご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

以上